

2009年5月29日

文責：山田 肇

メディア集中に関する研究会第2回

開催月日：2009年5月29日

開催場所：東洋大学大手町サテライト

参加者数：10名

議事次第：

- 1) 情報通信学会大会における研究会報告について 幹事：山田 肇
- 2) その他

議事概要：

- 1) 山田幹事より研究会報告の原案について説明があった。おおむねこの原案のとおり報告することになり、「最終目的はボイスの集中評価であって、独占禁止法的な HHI 評価ではない」ことを書き足すなどの、修正は中村主査と豊嶋、山田の両幹事に一任された。
- 2) 報告は研究の概要とメディア集中の評価結果の二つのパートに分かれるので、研究の概要については山田幹事が、メディア集中の評価結果については浅利光昭氏が報告することになった。
- 3) 今後の進め方について議論が進んだ。その結果、次の三つのアクションをとることになった。
 - アクション 1 各国のデータが出つつあるが、どのような範囲をデータ（たとえば電波による放送だけかケーブルテレビも含むか）を取ったか、どのようなデータ（たとえば売上高か視聴率やカバーする人口か）を取ったか、などがバラバラである。そこで、これらのことがすぐにわかる形でデータを提出するように、国際プロジェクトに対して中村主査と林絃一郎氏が提起することになった。
 - アクション 2 わが国としては他国に先駆けてメディア集中の評価を続けることとし、浅利光昭氏に音楽に関するデータを収集整理するように依頼した。
 - アクション 3 いわゆる研究発表の機会を設けることが研究会として適切であると判断し、適切な講演者に依頼することになった。まず、豊嶋、山田の両幹事より東京大学の山口いつ子氏（情報学環）に依頼を出すことにした。
- 4) 6月は学会大会があるため、次回研究会は7月を目処に開催することにした。
- 5) 中村主査より、学会より5万円の経費枠が与えられているので有効な利用候補があれば提案して欲しいとの発言があった。

以上

備考：研究会資料は修正のうえ学会大会に提出されるため、今の段階では学会サイトに掲載しないことにした